

12月17日「小学1・2年生が『必ず』食いつく20の練習メニュー！」

12月17日「小学1・2年生が『必ず』食いつく20の練習メニュー！」（キッズメニュー伝達講習会）を実施しました。この講習会は通常実施しているキッズリーダー講習会の内容をより実戦的に1・2年生が楽しめるようなメニューを紹介しながら参加者に実践していただく形式で、昨年水戸で実施し（70名超参加）、今年の日立で実施（68名参加）、また10月には水戸とつくばで実施予定でしたが台風で延期となったため（つくばでは座学を実施60名参加）、今回、つくばアカデミーセンターで実施しました。この時期の18時から開始にも関わらず、実際に子供を指導する指導者の方や保護者の方など30名を超える方に参加いただきました。



まずは『アイスブレイク』といって参加者の気持ちをほぐす実技からスタートしました。



写真は『チェーンノット』といって、つないだ手を離さないように一つの円をつくる遊びです。

（コミュニケーションが重要です！）

その後指導者グループと保護者グループに分かれてトレーニングを実践していただきました。上田原コーチのセッションでは「1対1の2辺突破」やゲーム形式などボールを使った対人の動きを行いました。



堀之内の方ではコーンやマーカーを使った動きづくり・ボールフィーリング、そして、ゴールキーパーをつけたシュートのトレーニングを行いました。なるべく子どもたちが並ばないこと（No Line）、なるべく子どもたちがボールを触る時間をふやすこと（No Laps）、なるべく子どもたちがプレーする時間を確保すること（No Lecture）を説明しながら進めました。この年代では特に「楽しみながらトレーニングすること」を意識して、子どもが夢中になるようなメニュー（もちろんサッカーの本質を折り込みながら）とともに、指導者や保護者の方の声掛けの重要性も感じていただきました。



最後はグループを混ぜてミニゲームを行いました。指導者や保護者も一緒に楽しむことも子どもたちにとっては大きな刺激になるのでぜひ「一緒に『大人げなく』プレーしましょう！」と声をかけると、どのコートでも真剣勝負のなかに笑顔があり、熱気のあるゲームが展開されました。



参加者コメント

- 子どもがつくばのアカデミーに通っていて前から興味がありました。
- 先輩コーチから誘われて参加しましたが、短時間でしたが濃い内容でした。
- 指導で悩んでいて参加しましたが、筑波大学蹴球部でもやってほしい。（部員 160 名が地域の少年団でコーチをしています）
- 子どもがスクールに通っているのと、会社で新入社員に教えるのに通づることがある。父としても子どもにアドバイスする見方が変わりました。
- 子どものクラスの勉強をしたいと思い知人に相談したところ講習会があることを教えていただきました。コーチの説明や実践も多く、あっという間の 2 時間でした。とても新鮮で分かりやすく勉強になりました。また、参加したいと思います。素晴らしい講習会を受けさせていただきありがとうございました。
- 子どもたちとの接し方や指導方法などを知りたかったため参加しましたがいろいろなメニューを切り替え早くできたのでとても楽しかったです。
- 子どもたちが楽しく成長できる練習とその練習の意図を知りたく参加しました。もっと詳しく聞いてみたい気持ちもあったので、もう少し長くても、と思いましたが体力的には限界が近かったのでちょうど良い長さだったと思います。

講師；上田原剛（JFA 公認キッズリーダーインストラクター、鹿島アントラーズスクールコーチ）

実技では「メニューも大切ですが、キーファクターがそれ以上に大切。また意味、意図のあるオーガナイズの大切さ」をお伝えしました。はじめは初対面の方々と遠慮している事が多くありましたがウォーミングアップ（アイスブレイク）を行うとすぐに打ち解けていたのが印象的です。短時間ではありましたがポイントを伝えると大人の方でもプレーが格段に良くなった方も多くいました。実際にプレーする事で感じる事も多くあるので指導の幅も広がると思います。皆積極的にそして真剣にプレーしており非常に内容の濃い講習会になりました。最後の挨拶でも言わせて頂きましたがこのような講習会に自ら参加し学ぼうとする姿勢は大変素晴らしいと思います。私自身も皆様に負けないように学び続けていきたいと思ひます。

以上

文責；堀之内寛（茨城県サッカー協会キッズ委員会）